

第2回奨学生のつどい

けんわ♥NASUTAMA

グループワークを通して、
民医連看護を学び職員と交流を図る



1年生

職員との交流会



12月に、1・2年生奨学生を対象とした「奨学生のつどい」を開催しました。1年生のつどいでは、基礎看護学実習を控え、実習に対する不安や緊張を軽減することを目的に、実習指導者との交流を行いました。学生が配属予定となる病棟の実習指導者より、病棟での1日の流れや実習の進め方について説明があり、学生からも多くの質問が出るなど、活発な意見交換の場となりました。

アンケートでは、「不安が軽減したので実習を頑張れそう」「病棟の雰囲気を感じることができ、良い機会だった」といった声が聞かれ、実習に前向きに臨むきっかけとなりました。



一方、2年生のつどいでは、民医連看護について学びを深め、職員との交流を深めることを目的に開催しました。グループワークを通して、職員が日頃の業務の中での取り組みや活動をパワーポイントにまとめ、発表を行いました。あわせて、「明日をつむぐ」冊子の一部を抜粋して紹介し、民医連看護の理念や実践について理解を深めました。アンケート結果では、ほぼ全員が「民医連看護について学びを深めることができた」と回答し、個性のある看護、多職種連携の大切さ、患者・家族に寄り添う看護、退院後を見据えた看護・介護の提供の重要性などを学ぶことができたという意見が多く寄せられました。職員からも、「実習前・学習段階の学生の考えや思いを知ることができ、有意義な時間だった」との声が聞かれ、学生・職員双方にとつて学びの多い交流の場となりました。

発行
本部看護対策室
西郡 明子



2年生 職員との交流会後発表

今後、職員の実際の看護活動を活かしながら、民医連看護を学生へ継承するとともに、奨学生一人ひとりが安心して学び、成長できるよう、あたたかく応援していきたいと考えています。

法人看護学生委員より

